

静岡県社会福祉協議会福祉教育副読本

# みんながっても、 おなじ「いのち」。



ふুকん

サッカーと富士山をこよなく愛する男子。  
お気に入り、ふじさんの帽子。  
カッコイイでしょ!!

しーちゃん

ふるさとの静岡茶が大好きな女の子。  
チャームポイントは、お茶っぱの髪どめ。  
ねえ、カワイくない?

赤い羽根  
共同募金

本冊子は、赤い羽根共同募金の  
配分を受けて作成しています

# いのち

「いのち」ってなんですか？

ただ一つたしかなことは、「いのち」は「いのち」から生まれたということ。

お父さんがにこにこしながら赤ちゃんをだっこしたり、  
お母さんがうれしそうにおんぶしたりしている姿を見ると、  
どの「いのち」も大切なものだということがわかります。

世界にはいろいろな人がいます。

男の人も、女の人も、赤ちゃんも、お年よりも、障がいしょうのある人もいます。

一人ひとり、顔も性かくもトクイもニガテもちがうけれど、  
みんな同じ、世界に一つだけの「いのち」です。

# 「いのち」が生まれた時の お母さんやお父さんの気持ち

あなたが笑えば、私も笑う。

あなたが悲しいと、わたしも悲しい。

おなかがすいたら、おっぱいをあげて。

おむつがぬれたら、おむつをかえて。

ねむたいときは、いっしょにねむる。

あなたが生まれて、

しんぱいなことがいっぱいふえた。

あなたが生まれて、

ちっちゃなことがとってもたいせつになった。

うれしくて、

いっぱいなみだがあふれるようになった。

そこにいることが、

そこにいてくれることが、

ただ、ただ、

ただ、ただ、

いとおいしい。



# かんじる

同じ教室のなかにも、  
あなたが感じていることと、友だちが感じていることが  
いっしょとはかぎりません。  
あなたが見ている世界と、となりの人が見ている世界は、  
まったくちがうものかもしれません。  
もしも、みんなが同じような感じ方しかできなかったら、  
世界中に、こんなにいろいろな絵や  
たくさんの歌はないはずですね。

# 小さなあなから見る世界

その子には、この世界がまるで

「まるめたボール紙をのぞいている」ように見えています。

目に見えるはんいが、とても小さいのです。

そのために、まわりのことに気づかなかったり、

話しかけられて、びっくりしてしまうことも、よくあります。

そのかわり、一つのことをじっと見てかんさつするのがトクイです。

大すきなこん虫の絵をかかせたら、だれもかないません。



人によって見えている世界も、

音の聞こえ方も、においの感じ方もちがいます。

感じ方のちがいに気づいたら、

みんなもっとなかよくなれるかもしれません。

# つたえる

赤ちゃんは、なくことで気持ちを伝えます。

ことばの話せない人は、字で書いたり、

手のうごきなどで気持ちを伝えます。

さわるとわかる点字で、

目の見えない人に気持ちを伝えることもできます。

じぶんの気持ちを伝えたいと思うのは、

みんな同じです。

気持ちが伝わると、うれしいのもおなじです。



## 歌うように話す女の子

とおいとおい国から、その子はやってきました。

地球のちょうど反対がわから、お父さんのしごとで転校してきました。

「日本語」は、まだあまりわかりません。

でも、その子には友だちがたくさんいます。

いつも歌うように話すので、

声の感じで気持ち伝わってくるのです。

気持ちを伝える方法は、「ことば」だけではありません。

表じょうや身ぶり、声の感じで、伝えることだってできます。

とおい国からきた、その子が話すことばからは、

どんないみかわからなくても、正じきな気持ちが伝わってきます。

さい近は、ときどき日本語もまざるようになりましたが、

歌うように話すのは、いままでとかわりません。

みんな、その子と話すのが大好きです。

# あそぶ

なかのよい友だちと遊ぶのは楽しいことですね。  
でも、いつもとちがう友だちと遊んだら、  
「いままでとはちがう楽しいことが見つかった」  
ということはありませんか？  
性かくも年れいもちがう、トクイやニガテもちがう、  
じぶんとちがう友だちほど、  
あたらしい発見は多いかもしれません。



# おじいちゃんの手

幼稚園に入るよりずっと前、  
その子は、おじいちゃんと毎日遊んでいました。  
はじめばかりのよちよち歩きは、  
おじいちゃんとおなじくらい。  
小さな手をひっぱって、  
おじいちゃんは遊びに出かけました。

たけど、小学校には行ってからは、  
手をつないでいません。  
シワシワのおじいちゃんの手が、  
なんだか気になるからです。

おじいちゃんの手は、いろんなことを、  
たくさんの遊びをしてきました。  
竹とんぼをとばしたり、  
お魚をつったり、コマをまわしたり、  
庭のブランコをつくったり。  
その子の頭を  
やさしくなでてくれたこともありました。

そんなことを思い出したら、  
その子は、少しなきたい気持ちになって、  
ひさしぶりにおじいちゃんと  
手をつなぎたくなりました。

シワシワの手から  
教えてもらえる遊びは、  
まだまだいっぱいあるはずです。

# まなぶ

あなたは、勉強が好きですか。  
勉強は、つくえの上だけではありません。  
人がほかの動物とちがうのは、  
おたがいに「学びあう」ことができ、  
学んだことを、  
「生きるための力」にできる点です。

# たくさんの先生たち

その子には、先生が何人もいます。

学校の先生や、ピアノや体そうの先生  
だけではありません。

お母さんはおそうじのし方を、  
お父さんは紙ひこうきのつくり方を、  
おじいちゃんは竹うまのつくり方を、  
おばあちゃんはお祭りのいみを  
教えてくれました。

となりのおじさんからは  
じょうずなヒモのしばり方を  
おばさんからは、  
昔のまちのようすを学びました。



その子の近くには、  
まだまだ、たくさんの  
先生がかくれています。

実はその子も、  
だれかの先生に  
なっているのかも  
しれません。



# はたらく

人は、なんのために働くのでしょうか。

お金のためでしょうか。

暮らしのためでしょうか。

もし将来あなたが働くとしたら、

どんな仕事をしたいですか。

それは、なぜですか。

# お金より大切なもの

その人は、毎日パンをつくっています。  
どうしても手がブルブルふるえてしまうので、  
ほうちょうをつかうのはニガテですが、  
パン粉をこねるのは、トクイです。



ある人が、その人に  
「たいへんな思いをしてパンをつくるより  
家でのおんびり暮らす方がしあわせじゃないか」  
と言いました。



でもその人は、お客さんに「パンがおいしかったよ」と  
言ってもらう方が、ずっとずっとうれしいのです

となりの部屋には、なんどもなんども大きさをたしかめながら、  
木のおもちゃをつくっている男の人がいます。



車いすの人は、いつもニコニコわらいながら、  
クッキーの袋にリボンをかけています。

働くことで手に入るもの。  
それはきっと、お金ではありません。



「感じたこと」を書いてみよう。

この本を読んで、あなたはどんなことを思いましたか。  
あなたの感そうを書いてみてください。



「できること」を考えてみよう。

あなたが、いろいろな人と「ともに生きる」ために、  
どんなことができるのかを、考えてみてください。



社会福祉法人 静岡県社会福祉協議会


〒420-8670 静岡市葵区駿府町1-70  
TEL.054-254-5248 FAX.054-251-7508  
http://www.shizuoka-wel.jp  
E-mail:spcsw@shizuoka-wel.jp



車いすマークがある  
駐車場には、  
一般の人はクルマを  
止めないでね



静岡県ゆずりあい駐車場制度ははじめました

 **駐車場を  
必要としている人  
がいます。**



車いすマークの駐車場が  
なぜ広いかわ  
知っていますか？

車いすを利用する方などが車へ乗り降りをするときドアを全開にする必要があるため幅を広く確保しています。

ゆずりあい駐車場制度とは

多くのお店や施設には、歩くのが大変な人のために車いすマークのある駐車場があります。しかし一般の人が利用して、障がいのある人などが駐車できないことがあります。そのため、本当に必要な人が見てわかるように「利用証」を発行しています。

利用証の種類



車いすをいつも使う人用



歩くのが大変な人用